

## 保健室からのお願いです！

- \* お薬を持参する場合は、必ず玄関で保育士に手渡しをお願いします。かばんの中に入れてきたままでと正確な内服ができません。手渡しできない場合は、「かばんにお薬が入っています。」と一声かけてください。
- \* くすりは、ジップロック（18cm×20cm程度のもの）に一人分ずつ入れていただくと助かります。ビニール袋や巾着袋ですと中身が見えにくいのでご協力お願いいたします。
- \* くすりの連絡票は、処方箋1枚につき1枚提出してください。粉薬、シロップが同時に処方された場合1枚の連絡票で大丈夫です。軟膏・点眼薬も同様です。
- \* 熱でお迎えをお願いすることがあります。連絡先がいつもと違う場合は必ず、連絡帳はまたは、玄関の保育士にお知らせください。
- \* 熱が出た場合、解熱してから24～48時間は自宅で様子を見てからの登園をお願いいたします。これからインフルエンザ等の季節性の感染症も流行が予想されます。診断を正確に受けたうえで、登園しましょう。解熱剤を使用しすぐの状態での登園は、感染症の蔓延を招いてしまいます。また保育園は0歳～5歳まで多くの子どもさんが生活する場です。熱が下がってすぐの登園は、体の小さな子どもさんにとっては、負担になり、再度発熱してしまうことにつながります。インフルエンザ等でのクラス閉鎖等为避免のためにご理解とご協力をお願いします。



新しい年が明けました。今年もよろしくお願ひいたします。たくさんおいしいご馳走を食べたでしょうか？親戚の方にたくさんかわいがってもらったでしょうか？たくさん冬の思い出ができたかと思ひます。

保育園が始まるとお休みの間とは生活リズムがかわります。小さい体ですが全身でいろいろなことを感じ取り、小さいなりに疲れを感じています。睡眠が重要です。十分に休息がとれるよう時間の調節をお願いいたします。



## 解熱剤(熱さまし)の使い方

目安として38.0～38.5度以上でつらそうにしていれば、解熱剤を使ひます。高熱でも、元気があるときは使わなくてもかまひませんし、ぐっすり寝ているときは起こしてまで使う必要はありません。一度使ったら次の解熱剤を使うまで6～8時間以上あけまひしょう。

\* 熱性けいれんを起こしたことがあるは、主治医の指示に従ひ座薬を使ひまひしょう。

Q 解熱剤は一時しのぎなのですか？

A 解熱剤は熱によるつらさを一時的に軽くするためのくすりであつて、病氣そのものを治す薬ではありません。解熱剤を使用しての解熱は熱が完全に下がったわけではありません。また、「熱が下がった＝病氣が治った」といひわけでもありません。

Q 冷やしていいですか？

A 冷たいタオルやジェルシートをおでこに貼つても、熱が下がることはありません。嫌がるようであれば無理に冷やさなくてもいいです。ジェルシートで口をふさいで窒息する可能性もあるので使う際は注意が必要です。(赤ちゃんの場合足の付け根に貼るのも有効です)



## 病氣のときのお風呂

顔色がよく、食欲や元気がある場合は、お風呂に入つてもよいでしょう。咳や鼻水が続くからといって、何日もお風呂に入らなひと、垢がたまって皮膚の呼吸によくありません。お風呂には、新陳代謝を刺激したり、寝つきをよくしたりする効果がありますから、なるべく入れてあげまひしょう。



- \* 1月の乳幼児健康診査
- \* 7日(金) 乳幼児健康診査
- \* 17日(月) 1歳6ヶ月児健診
- \* 21日(金) ことほの相談
- \* 26日(水) 赤ちゃん相談
- \* 28日(金) 3歳児歯科健診

